

週報 第3320回

会 長 杉本 憲一 副会長 中 透
幹 事 細川 嘉則 SAA 川崎 久典

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日12:30~13:30



事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumitsu-rc.org
ホームページ http://izumitsu-rc.org



今週の例会 (2026年1月9日) 第3320回

■ プログラム

「新年会長挨拶」杉本 憲一 会長

■ 次週のプログラム

1月16日: クラブアッセンブリー
各奉仕部門担当理事

■ 今後の予定

1月23日: 新年特別卓話
泉大津市長 南出 賢一 様

■ 祝 誕生日

籾野 信(4日)
丹農 秀知(7日)

■ 今月のロータリーソング

それこそロータリー

今月の歌

たき火

垣根の垣根の 曲がり角
たき火だたき火だ 落ち葉たき
あたろうか あたろうよ
北風ぴいぶう 吹いている

■ 先週の例会

会長の時間



杉本 憲一 会長

「昔の正月の過ごし方」

昔の正月は、年神様を迎え、家族で家や神社にこもり、五穀豊穡や子孫繁栄を祈る過ごし方が一般的でした。

1.年神様を迎える準備

年神様(歳神様)は、新年に各家庭を訪れ、五穀豊穡や無病息災、子孫繁栄などの福をもたらすとされる日本の神様です。初日の出とともに山から降りてくると伝えられ、正月飾りや鏡餅に宿るとされています。

昔は、旧暦の12月13日を「正月事始め」とし、この日から正月の準備を始めました。

- 煤払い**:1年間の汚れを落とす大掃除を行い、年神様を迎える準備をしました。
- 正月飾り**:門松やしめ縄、鏡餅を用意し、年神様をお迎えする依り代や神聖な場所の目印としました。

2. 元日の過ごし方

元日は年神様を迎える大切な日とされ、家族揃って自宅や地域の神社にこもり、年神様の来訪を待つのが一般的でした。

- 年取り**: 昔は誕生日ではなく、正月が来るたびに皆が一斉に年を取る「数え年」でした。
- おせち料理・お雑煮**: 家族で囲み、年神様をお迎えすることに関連する習わしでした。

3. 初詣の起源

現在の初詣の起源の一つは、江戸時代中期に流行した「恵方参り」とされています。

- その年によって変わる年神様のいる方角「恵方」にある社寺に参詣しました。
- 現在のように各地の社寺に大勢の参拝客が訪れるようになったのは、明治時代以降に都市部から広まった比較的新しい風習です。

4. 暦と正月の時期

古代日本では、春めいた「初春の満月の日」が正月でした。

- 7世紀に中国から太陰太陽暦が伝わり、新月の日が正月となりました。
- 明治時代にグレゴリオ暦(太陽暦)が採用され、現在の1月1日が正月となりました。

「おせち料理」

おせち料理は、一つひとつの食材に深い意味が込められた、まさに「食べる縁起物」の宝庫なんですよ。家族の幸せを願う気持ちがぎゅっと詰まっていて、お重を開けるたびにその願いを感じられます。

おせち料理の原型は、弥生時代に始まったとされています。

- 「節供(せちく)」**:古代日本では、季節の変わり目である「節(せち)」に、神様への供え物として特別な料理を作っていました。これが「節供料理」と呼ばれ、おせち料理のルーツです。
- 五節句(ごせつく)**:江戸時代には、人日(じんじつ)、上巳(じょうし)、端午(たんご)、七夕(たなばた)、重陽(ちょうよう)の五節句が定められ、それぞれの節句にお祝いの料理が供されました。

宮中から庶民へ広がる食文化

最初は宮中行事だった節供料理が、徐々に庶民に

も広まっています。

- 「おせち」の誕生**:特に新年の節句料理は最も重要視され、次第に「おせち料理」と呼ばれるようになりました。江戸時代後期には、庶民の間でも年末に作り置きをして新年を祝う習慣が定着しました。
- 三が日の時短料理**:お正月三が日は、台所に立つことを避けるという風習があったため、保存がきくように工夫された料理を重箱に詰めるスタイルが確立しました。

海の幸に込められた願い

海の幸を使ったお料理には、長寿や立身出世への願いが込められています。

- えび**:腰が曲がるまで長生きできますように。
- 数の子**:子孫繁栄、子宝に恵まれますように。
- 田作り**:豊作を願い、五穀豊穡を祈ります。
- ブリ**:出世魚にあやかり、立身出世を願います。

大地の恵みに宿る福

山の幸や畑の恵みからは、健康や勤勉さへの願いが伝わってきます。

- 黒豆**:まめに(勤勉に)働けますように。
- ごぼう**:細く長く幸せが続きますように。
- れんこん**:将来の見通しが良くなりますように。
- 紅白かまぼこ**:祝辞やおめでたい席にふさわしい、彩りを添えます。

家族の幸せを願う甘味

甘いお料理には、家族の結びつきや金運への願いが込められています。

- 栗きんとん**:金運を招き、豊かな一年になりますように。
- 伊達巻(だてまき)**:学業成就や文化発展を願います。

幹事報告

細川 嘉則 幹事

- 1月2日(金)の例会は、定款第7条第1節の規定により休会になります。新年は、9日(金)が1月1回目の例会となりますので、よろしくお願い致します。
- 事務局の本年の業務は本日まででございます。新年は1月5日(月)からになります。

委員会報告

- 先日のクリスマス家族例会、皆さんご協力ありがとうございました。子供さんたちもたくさん来てくれて、喜んでいただけたらよかったかなと思っております。皆さん、ありがとうございました。
(山本 博章 親睦活動委員長)
- 1月15日(木)の映画上映会ですが、前々回参加協力依頼ということで記入シートをまわさせていただきました。70周年実行委員会で役割等を決めていき、お声掛けさせていただきますので、よろしくお願い致します。本日メールボックスに、70周年記念事業概要を1枚入れさせていただいておりますので、お目通しよろしくお願い致します。
(今井 克範 70周年実行委員)
- 本日例会終了後、みやびの間におきまして、70周年実行委員会開催致しますので、委員会メンバーの皆様、ご出席のほどよろしくお願い致します。
(松内 俊夫 70周年実行副委員長)

■ ビジター

なし

■ 出席報告

会員数40名 出席免除 0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
12/26	31名	9名	—	77.50%
12/12	33名	7名	3名	90.00%

■ メークアップ

榎本(12/15 ワールド大阪ロータリーEクラブ)

根尾(11/28 職業奉仕職場見学)

住友(12/12 親睦活動委員会)

■ ニコニコ箱

- ・本日 原会員、卓話よろしくお願いします(杉本)
- ・原正人会員、本日の卓話よろしくお願いいたします。今年最後の例会にご出席の皆様、どうか良いお年をお迎え下さい(細川)
- ・原様、本日の卓話よろしくお願いします。今年の目標 登山年間1200km達成しました(川崎)
- ・クリスマスプレゼント 孫達大喜びです。ありがとうございました(渡辺)
- ・先日のクリスマス例会担当の皆様、お疲れ様でした。早退のおわび(藤野)
- ・親睦活動委員会の皆様、楽しいクリスマス例会ありがとうございました。卓話ががんばります(原(正))

ニコニコ箱合計	18,000円
累計	355,000円

先週のプログラム

卓話



卓話担当 原 正人 会員

親睦活動委員会のメンバーの皆様クリスマスの設営お疲れ様でした。

今年も残すところあと五日になりました。令和7年の最後の例会の卓話にあたりました。丁度3年前の2022年の最後の例会の卓話も偶然に順番が当たっていました。3年の間にもう1回卓話ありましたが、何か仕事からみの話をしましたが内容は忘れました。3年前の卓話の内容は覚えていて、来年何があるかを話しました。政治経済スポーツをいくつか話しました。翌年にWBCワールドベースボールクラシックが開催されて準決勝の対メキシコ戦のサヨナラ勝ち、決勝戦が日本対アメリカ、最後がピッチャー大谷、バッターがアメリカの

MVP3度のキャプテン、トラウトの対決で大谷がトラウトを三振に仕留めて日本が優勝しました。誰も人の卓話は覚えてないと思いますが、年末の卓話で決勝は日本とアメリカの対戦になると予想していました。見事的中したので自分でも驚きました。日本が優勝するとは言ってませんでした。来年3月にWBCが開催されますが、次はアメリカの優勝です。前回のアメリカチームはトラウト、ベッツらの攻撃陣はメジャーのスター選手がそろっていましたが、ピッチャーはメジャートップはいませんでした。来年はMVPのヤンキースのアーロンジャッジがキャプテンとしてアメリカチームを引っ張り、ナ・リーグホームラン王のシュワバー、ア・リーグホームラン王のローリー、ドジャースのキャッチャーウィルスミスも出ます。ピッチャーも今年サイヤング賞のポールスキーンズ、スクーバルといったバリバリのメジャーのエースが参戦を表明しているのでアメリカが優勝します。今回アメリカチームが本気なのは前回日本にああいう負け方をしてベースボール発祥の地のプライドが傷ついたのと、2028年のロスオリンピックで野球が正式種目として復活することへの地固め。

2月にはイタリアミラノコルティナで冬季オリンピックが開催されます。

来年は6月から7月にかけてサッカーのワールドカップがあります。日本のサッカーもここ2.3年でずいぶん強くなりました。最近ではブラジル、ドイツあたりにも勝っています。まだ全力で来られると難しいと思います。ベスト4あたりまで行ってくれればおいしい酒が飲めます。スポーツでもう一つ楽しみにしているのがボクシングです。明日サウジアラビアで井上尚弥がアランピカソという選手と戦いますが、これは勝ちます。井上尚弥はスーパーバンタム級の4団体統一王者でPFPの2位か3位で1位にランクされていることもありました。今、日本でもう一人強いチャンピオンがいて元世界バンタム級2団体王者で中谷潤とでPFPの8位にランクされています。この2人が来年の5月3日に東京ドームで試合をする準備を進めている。間違いなく日本のボクシングでは史上最高の試合です。世界的に注目されています。どちらが勝つかわかりません。

大津神社の前の道の話をして。今盛んに工事が進められています。泉大津駅西側の交差点のところが広くなれば一方通行が解消されて、工事が終わると思っている人が多い。

昭和14年に神社の前の道路が幅員11mで都市計画が決定されました。今から86年前になります。それから15、6年たって昭和29年に大津神社が後退して道路

が今の幅員になりました。11m、約70年前です。その時に計画通り工事が完了してれば良かった。その後昭和34年に幅員16mに計画決定変更された。66年前。その後59年進展がなく、平成30年2018年に事業認可されました。16m、今から6.7年前。

今の計画では大津神社がもう一度下がらなくてはならない。鳥居も玉垣もつぶします。個人的には11mで十分だと思う。モータリゼーションの時代ではない。ほとんどの人は神社が下がるといえば、なんでという返答。一般市民の感覚。難波の高島屋の前は広場になっている。御堂筋はどんどん狭くなって歩行者天国になる。行政は決まったことだからという説明です。実際は16mにしないと国からの補助金が下りない。

残念なのは2.3年前まで神社にはもう一度下がるという説明はなかった。多分、市も市議員も必要性等から考えて言いにくかったのではないかな。行政は5年先10年先を考えると、神社は50年先100年先200年先のことを考えます。その時に16mの道路が本当に必要かは個人的には疑問です。民間の事業だったらどうだろうと考えます。

日本が世界で一番歴史のある国としてギネスブックに登録されています。その理由は単一国家でいわば天皇が国家元首で長く続いている。血統が同一で世襲の長さで世界最古、紀元前660年2月に建国、その世襲が男系男子であることがさらに皇室の価値を高めている。世界中に王族キングは多いが、英語でエンペラー皇帝は、現在は日本の天皇陛下だけ。君が代は世界一短い国歌としてギネスに登録されている。